

# ケーブル探査器 Superケーブルチェッカ

## SWC-B形

誤切断を完全防止

手追い探査を解消



### ■特長

- 撤去ケーブルを確実に探査できます。(誤切断を完全防止) [撤去ケーブル探査(死線)]
- 判定が容易です。(該当ケーブルのみに反応)
- 各種外部センサにより、高所ラック上ケーブルや狭隘部ケーブル探査が可能で手追い探査が不要です。(4種類のオプションセンサを準備しています)
- ブレーカ探査や電力量計の誤結線検出ができます。(活線)

### ■機能

- 撤去ケーブルの探査(死線)
- ブレーカ探査、電力量計誤結線チェック、回路電圧のチェック(活線)

### ■定格・仕様

#### 送信器(形名: SWC-B-T)

適用電圧範囲	AC50/60Hz・DCとともに12~528V
方 式	電流消費型
信 号 周 波 数	5kHz
信 号 電 流	200mA <sub>p</sub>
信 号 時 間	30ms
信 号 周 期	500ms
動 作 表 示	LED(黄)
電 圧 表 示	LED(赤) (100V・200V・400V)
寸 法	112(H)×82(W)×30(D)mm
質 量	約111g

#### 電源ユニット(形名: SWC-B-P)

適用電圧範囲	AC100V 50/60Hz
出 力 電 流	電線ループ探査時:200mA <sub>p</sub> ±10% 大地ループ探査時:接地抵抗合計200Ωで 200mA <sub>p</sub> ±10%
出 力 コ ー ド	クリップ付 長さ:3m
寸 法	83(H)×130(W)×170(D)mm
質 量	約1kg

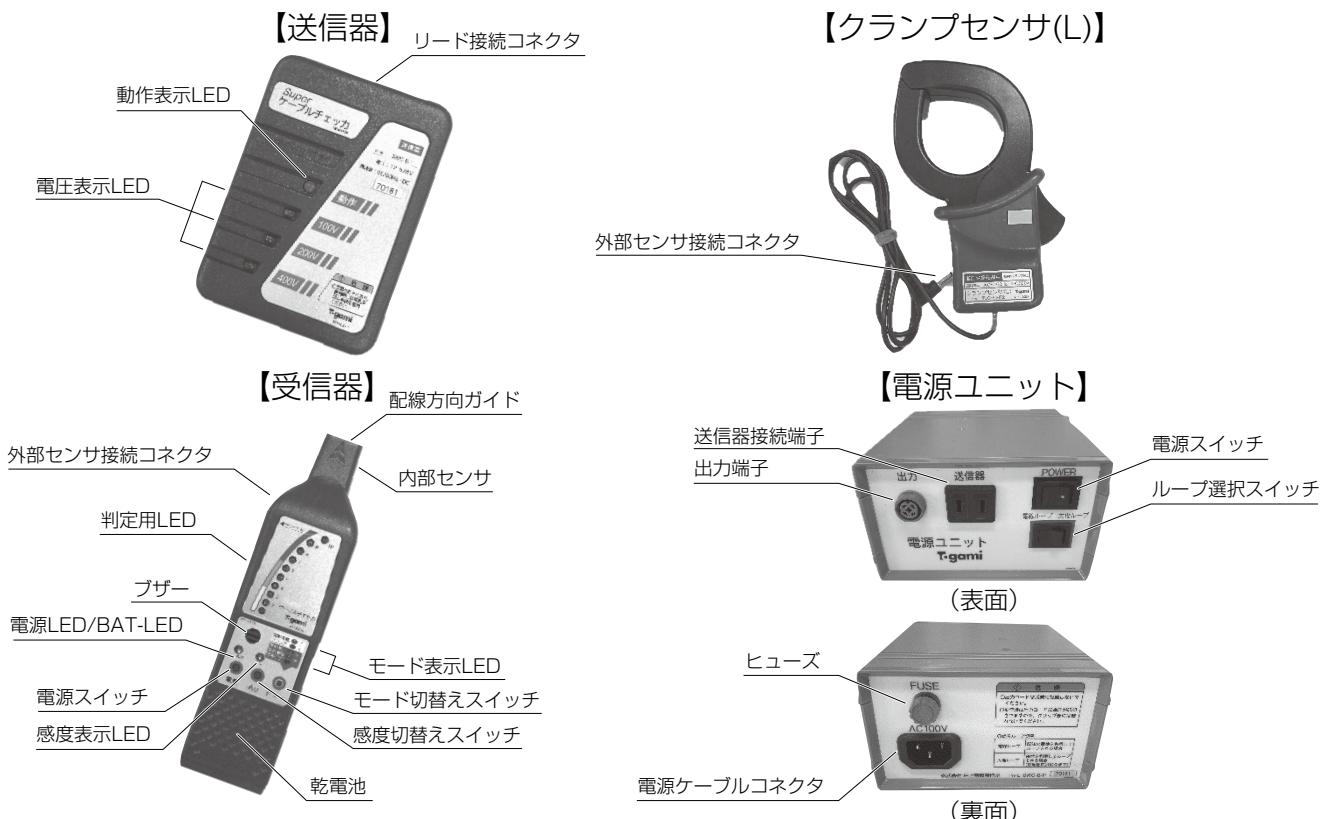
## 受信器(形名: SWC-B-R)

検出方式	信号電流によって発生する磁界を検出
検出周波数	5kHz
内蔵センサ	コイルセンサ
外部センサ	クランプセンサ(プラグ接続式) ロッドセンサ(プラグ接続式)
判定方法	10個の判定用LED(赤)点滅(受信レベル表示)およびブザー音
感度切替	【ブレーカ探査】 電線(接触)のLO(低)/HI(高)感度切替え、 クランプはLO(低)感度のみ 【ケーブル探査】 電線(遠)および電線(接触)のLO(低)/HI(高)感度切替え、 クランプはLO(低)感度のみ
電源	9V乾電池×1個(マンガンまたはアルカリ乾電池)
電池寿命	約8時間(マンガン乾電池 20°C 連続受信)
電池寿命表示	BAT-LED(青)(点灯=良 / 点滅=交換時期 / 消灯=使用不可)
オートパワーオフ	無操作になってから10分後に自動オフ
オートパワーオフ警告音	1.5秒(ON)→5秒(OFF)→1.5秒(ON)→5秒(OFF)→3秒(ON) 最後の3秒のブザー音終了後、電源OFF
適用外部センサ	クランプセンサ(S)(内径φ8)(オプション) クランプセンサ(M)(内径φ24)(オプション) クランプセンサ(L)(内径φ40)(標準付属) クランプセンサ(LL)(内径φ68)(オプション) ロッドセンサ(全長24~122cm可変)(オプション)
寸法	193(H)×51(W)×33(D)mm
質量	約135g(乾電池含む)

## クランプセンサ(L)(形名: TLC-C-F2)

適用電圧範囲	AC0~528V 50/60Hz・DC0~528V
適用電流	AC300A 50/60Hz・DC300A
クランプ部内径	φ40
適用クランプ箇所	低圧絶縁電線の絶縁被覆部分(裸導体へのクランプは禁止)
信号ケーブル長	約90cm
寸法	128(L)×81(W)×36(D)mm
質量	約187g

## ■各部の名称



## ■探査手順

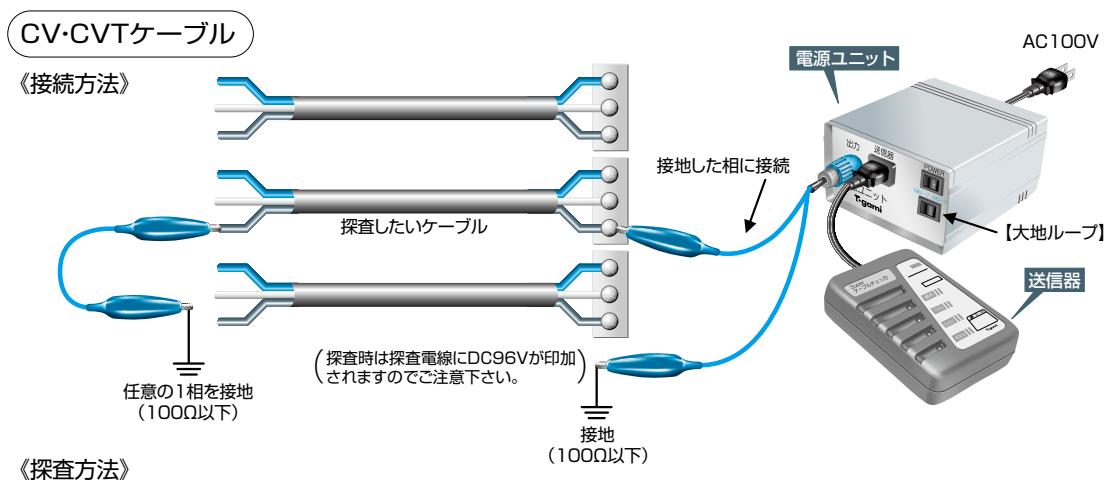
### 1. ブレーカ探査方法

- ①送信器を改修や点検をしようとする端子部に接続します。
- ②受信器をブレーカに接続されている配線に順次当ててブレーカを探査します。

▼  
ケーブル両端が判明すれば撤去ケーブル探査へ

### 2. 撤去ケーブル探査方法

#### 大地ループを使用したケーブル探査方法(死線状態)



#### 《探査方法》

電源ユニットのループ選択スイッチを【大地ループ】に設定し、POWERスイッチをONにし、送信器の動作表示LED及び回路電圧表示LED100Vが点滅していることを確認して下さい。

※ランプが点滅しない場合はクリップの接続間違い、クリップ部の接触不良、接地抵抗200Ω以上、装置の故障が考えられます。

①受信器のモードを【ケーブル:電線(遠)】に設定し、該当ケーブルがあると思われる所を広範囲に探査して下さい。A

②受信器のモードを【ケーブル:電線(接触)】に設定し、該当ケーブルを絞り込んで下さい。B

・1本ずつケーブルに受信器を当て、ケーブルを絞り込んで下さい。

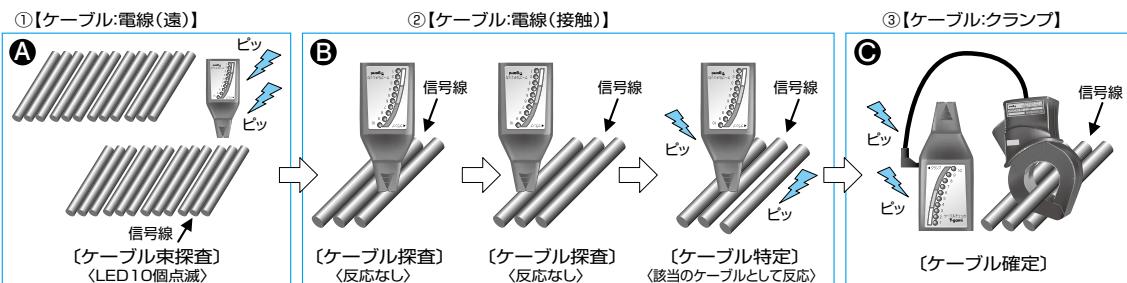
・ケーブル1本につき、3秒以上受信器を当てて下さい。

・信号未受信(探査中)の場合は、LEDが1個移動しながら点灯します。

・LEDが10個点滅したケーブルが該当のケーブルです。

③絞り込んだケーブルにクランプセンサを3秒以上クランプし、ケーブルを確定して下さい。C

このとき受信器のモードは【ケーブル:クランプ】に設定して下さい。



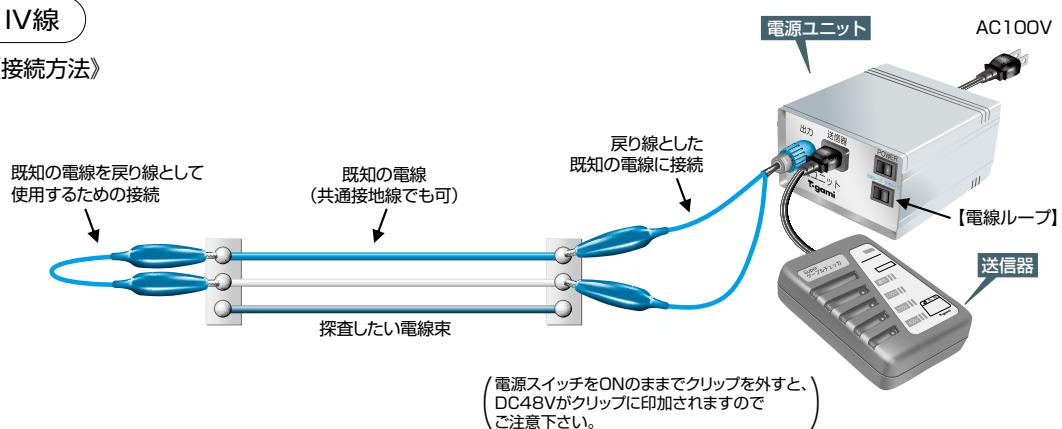
#### ご注意

- 100Ω以下の接地端子に接続して下さい。
- 【ケーブル:電線(遠)】は受信感度に応じてLED点滅数が変わるために、一番反応した箇所が該当ケーブル束になります。
- 【ケーブル:電線(接觸)】は、オート感度になっているため、一度ケーブルを確定した後は、モード切替SWを押すか、感度切替SWを押して、オート感度を解除して下さい。
- 【ケーブル:電線(接觸)】および【ケーブル:クランプ】は、該当ケーブルの場合、LEDが10個点滅します。

## 電線ループを使用したケーブル探査方法(死線状態)

IV線

《接続方法》



《探査方法》

電源ユニットのループ選択スイッチを【電線ループ】に設定し、POWERスイッチをONにし、送信器の動作表示LEDが点滅していることを確認して下さい。

※回路電圧表示LEDは点滅しません。

※ランプが点滅しない場合はクリップの接続間違い、クリップ部の接触不良、装置の故障が考えられます。

①受信器のモードを【ケーブル:電線(遠)】に設定し、該当電線があると思われる所を広範囲に探査して下さい。A

②受信器のモードを【ケーブル:電線(接触)】に設定し、該当電線を絞り込んで下さい。B

・1本ずつ電線を引出して受信器を当て、電線を絞り込んで下さい。

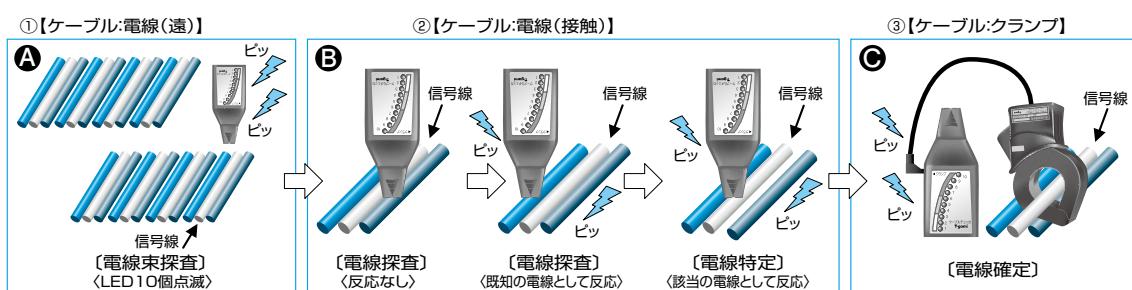
・電線1本につき、3秒以上受信器を当てて下さい。

・信号未受信(探査中)の場合は、LEDが1個移動しながら点灯します。

・LEDが10個点滅した電線が該当の電線です。

③絞り込んだ電線にクランプセンサを3秒以上クランプし、電線を確定して下さい。C

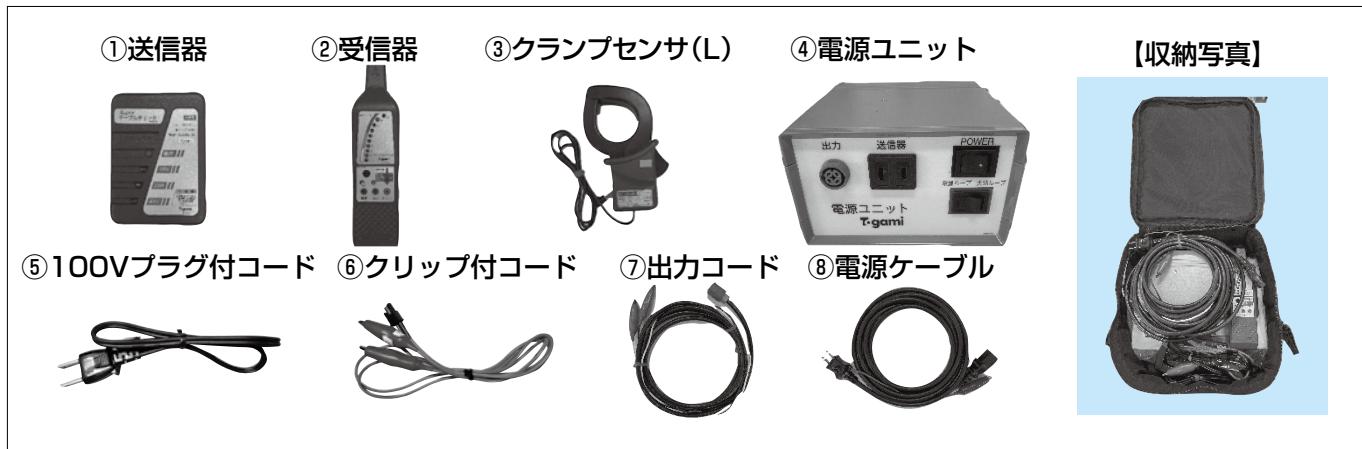
このとき受信器のモードは【ケーブル:クランプ】に設定して下さい。



ご注意

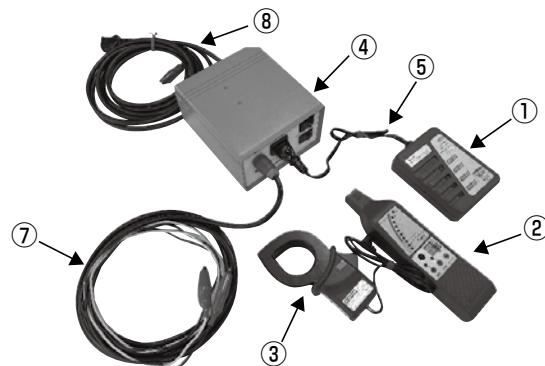
- 【ケーブル:電線(遠)】は受信感度に応じてLED点滅数が変わるために、一番反応した箇所が該当電線束になります。
- 【ケーブル:電線(接触)】は、オート感度になっているため、一度電線を確定した後は、モード切替SWを押すか、感度切替SWを押して、オート感度を解除して下さい。
- 【ケーブル:電線(接触)】および【ケーブル:クランプ】は、該当電線の場合、LEDが10個点滅します。

## ■構成



9Vマンガン乾電池、取扱説明書、キャリングケースも付属します。

### 【接続例】



## ■オプション類

クランプセンサ(S)  
(内径Φ8)  
(TLC-C-F3)



クランプセンサ(M)  
(内径Φ24)  
(TLC-C-F1)



クランプセンサ(LL)  
(内径Φ68)  
(TLC-C-F7)



## ■標準価格表

形 名	標準価格(税別)(円)	備 考
SWC-B	166,000	

## オプション品

品 名	標準価格(税別)(円)	備 考
クランプセンサ (S)	79,000	
クランプセンサ (M)	44,000	
クランプセンサ (LL)	109,000	